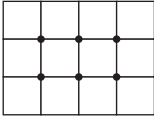
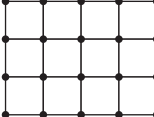
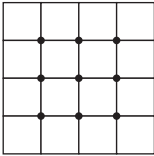
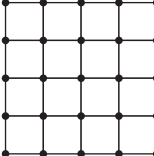


■製品仕様

品名	調整束	
品番	YK-0206	YK-0511
対応寸法 (H)	20～60mm (調整代 40mm)	55～115mm (調整代 60mm)
色・柄	ブラック	
材質	PA	
梱包	50コ	
最大圧縮荷重 (測定値)	13.13kN (1,340kgf)／コ	

※最大圧縮荷重は測定値であり、保証値ではありません。安全率を加味してご使用ください。

■製品割り付け例

	一般木造	使用数量	鉄骨造	使用数量
6置		6本		20本
8置		9本		25本

※使用数量は、取り付けピッチを900mmとした場合の本数です。

Joto

要保存

施工説明書

調整束

YK-0206 / YK-0511

この度は、調整束をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
正しく取り付けいただくために、また製品の性能・品質・安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき施工してください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

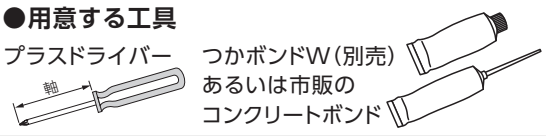
⚠ 注意	
⊘	この記号は、禁止の行為を示しています。
❗	この記号は、必ず実行していただく「指示」内容を示しています。
⊘	屋外で使用することを想定していないため、屋外で使用することは避けてください。
	対応寸法以上の高さでは絶対に使用しないでください。
	大引を支える以外の用途では使用しないでください。破損など事故の原因となります。
	不要な打撃や加熱などを加えないでください。破損する恐れがあります。
❗	絶対に分解・改造しないでください。破損など事故の原因となります。
	本製品の取り付け施工は、施工手順に従って確実に行ってください。
	本製品は、主要構造部扱いとならない床組にご使用ください。
❗	本製品の取り付け位置の表面が水平で、溜水・異物のないことを確認してください。

※接着剤は、当社製品の『つかボンドW』を推奨いたします。 [適用量：35～40g／コ]
※YK-0511 をご使用いただく場合、プラスドライバーの軸の長さは最大で大引寸法
+85mm必要になります。製品や仕様に応じてプラスドライバーを選択してください。

●用意する工具

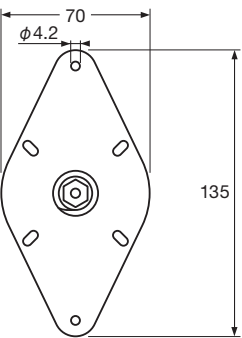
プラスドライバー

つかボンドW (別売) あるいは市販のコンクリートボンド

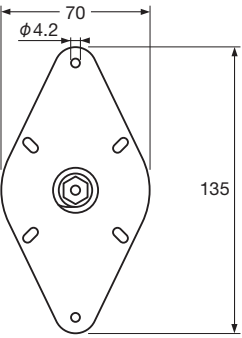


■製品寸法図 (単位:mm)

●YK-0206

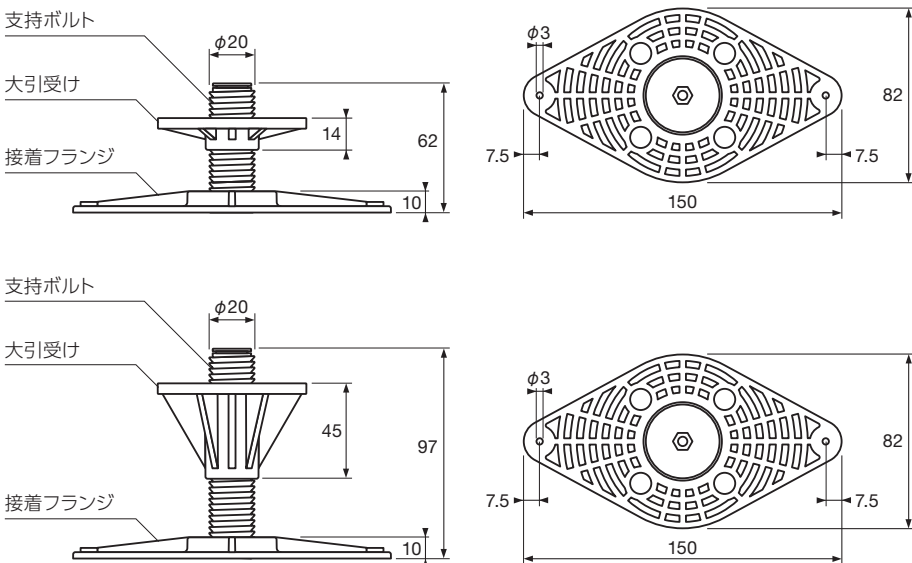


●YK-0511



■付属品

六角レンチ L150×70×2面幅10mm (1本)、取付ビスφ4×30mm (100本)、
コンクリート釘#12×25mm (100本)





城東テクノ株式会社

ユニークな建材で長持ち住まいをささえます。

本製品に関するお問い合わせは

 **ダイヤル【J】0120-106011**

受付時間(土・日・祝を除く) 9:00～12:00/13:00～16:00

城東テクノホームページ

Joto 

http://www.joto.com



Information
※Joto製品は、PL法に基づく製品保証体制を取っております。
※製品の仕様は予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。



城東テクノ株式会社

Joto 調整束は一般木造や鉄骨造などの転ばし床に使用できます。

■施工の前に

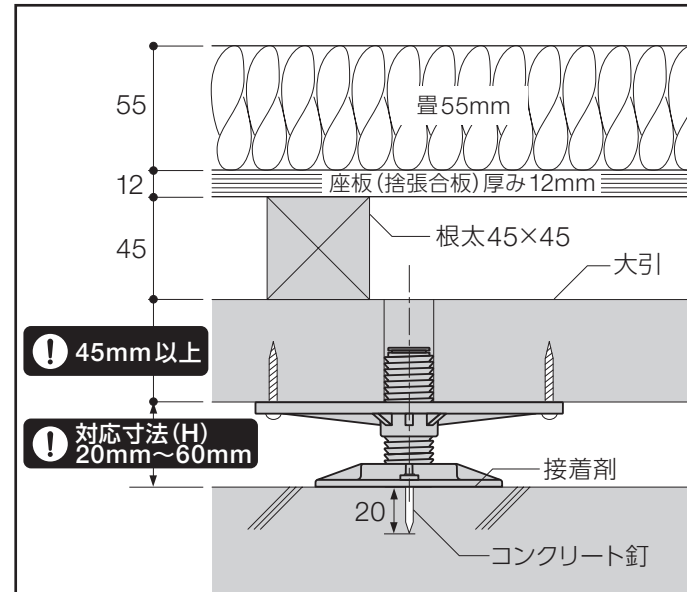
調整束を安定させ、しっかりと接着できるように、コンクリートの表面は**できるだけ平滑に仕上げ、溜水・ゴミなどは清掃**してください。

■参考納まり図



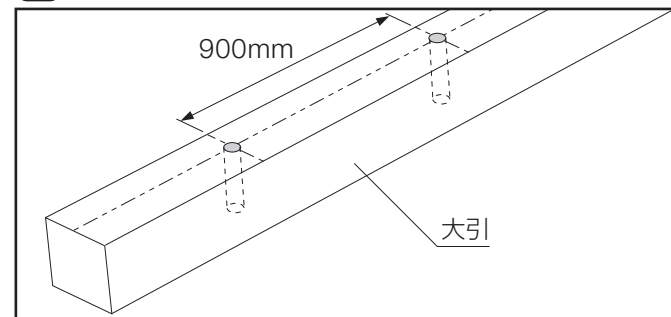
大引は寸法(高さ)**45mm以上**をご使用ください。
調整束のボルト部の長さが最大45mmになるため、突き出てしまうことがあります。
※大引のサイズは荷重などを考慮して決定してください。

●YK-0206



■ 施工手順

1 大引への穴あけ



調整束の取り付け位置に合わせて、φ21～φ22の穴をあけます。

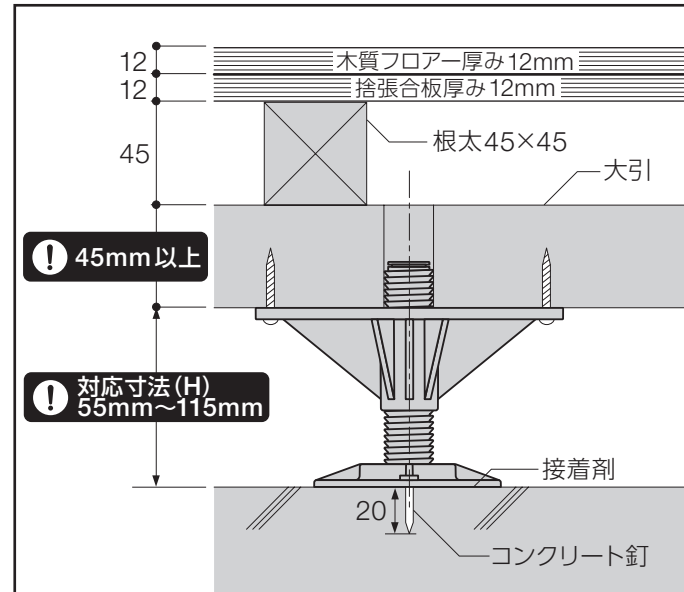
●鉄骨造などの軋ばし床にご使用の場合は、大引を流す方向へ墨出しをしてください。



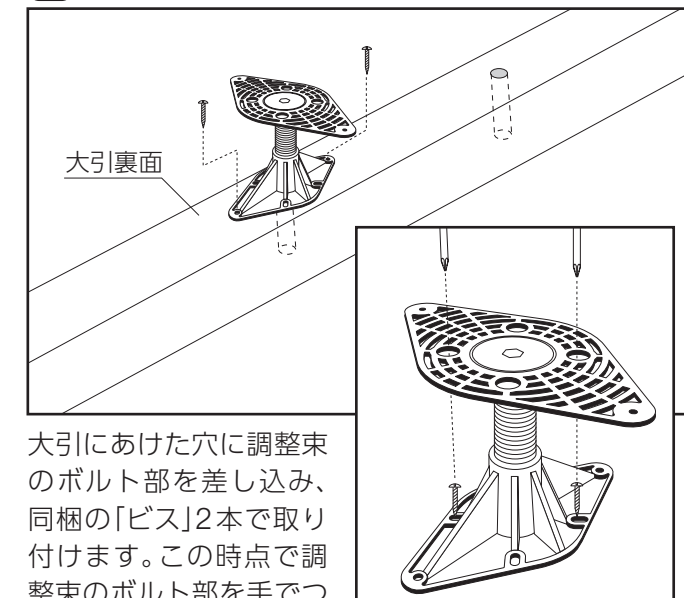
●調整束の取り付け間隔は、**900mmピッチが標準**です。
※荷重などを考慮し、ピッチを決定してください。

●大引の間隔は、**900mm前後のピッチで設置してください。**
 ※大引のピッチは荷重などを考慮して決定してください。
 ※付属の六角レンチは大引サイズ105mmまでの対応となっております。

●YK-0511



2 製品の取り付け



大引にあけた穴に調整束のボルト部を差し込み、同梱の「ビス」2本で取り付けます。この時点で調整束のボルト部を手でつかんで回し、使用される高さに調整しておきます。
(手でつかめない場合は同梱の六角レンチで回してください。)

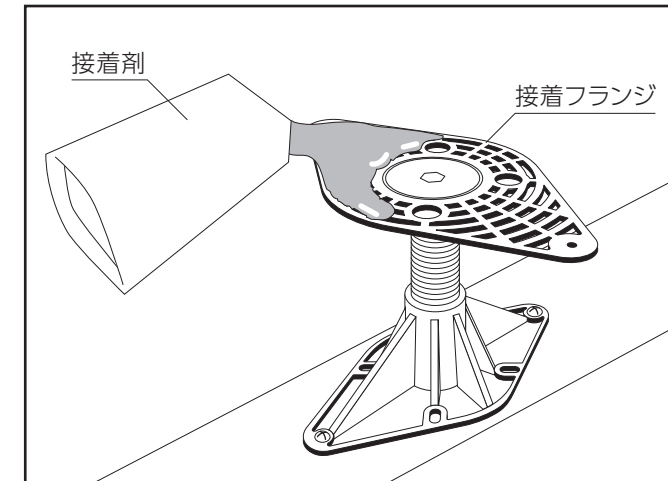
●長穴側で取り付けされる場合は、対角線上に同梱の「ビス」2本で取り付けます。



調整束は**垂直**に取り付けてください。

■ 施工手順

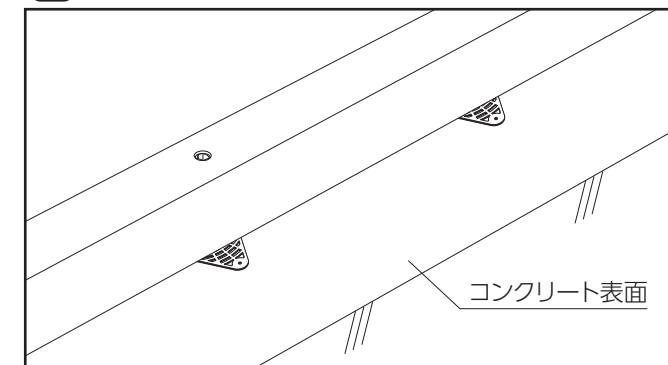
3 接着剤の塗布



調整束の裏面に、接着剤を必要量塗布(1個につき35～40gが目安)してください。

●塗布後は、すぐにコンクリート表面に圧着してください。

4 大引の据え付け

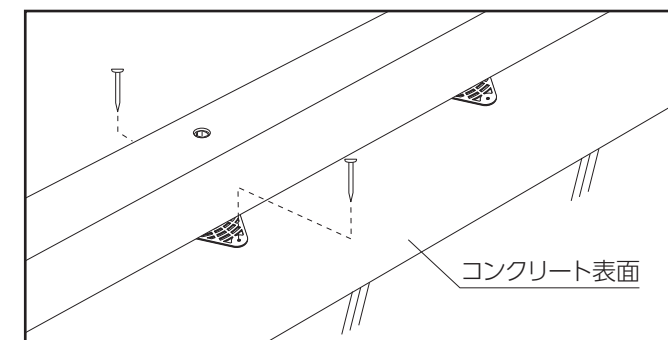


接着剤を塗布後、大引を据え付けます。



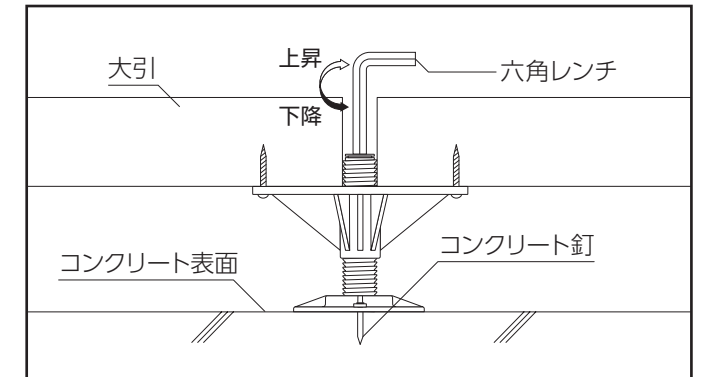
大引と接着フランジの長手方向が直交するようにして据え付けてください。

■コンクリート釘の打ち込み



接着剤の硬化時間は1日以上必要です。こぼり止めが必要な場合は、同梱の「コンクリート釘(2本/コ)」を打ち込んでください。

5 レベル調整

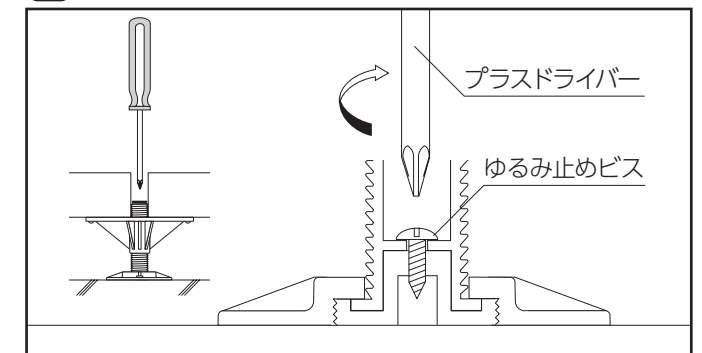


同梱の「六角レンチ」を使って高さ調整をし、水平レベルを出します。



コンクリート表面より大引下面までの高さは、
**YK-0206の場合20mm～60mm、YK-0511の
場合55mm～115mmまでに設定してください。**

⑥ ゆるみ止めビスの締め付け



レベル調整後、調整束内蔵の「ゆるみ止めビス」をプラスドライバーで右回りに約1回転締め付けてください。



付属のコンクリート釘は、**コンクリート埋設配管箇所には打たない**でください。配管が破損するおそれがあります。